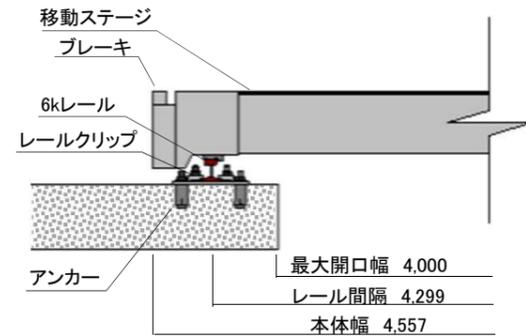
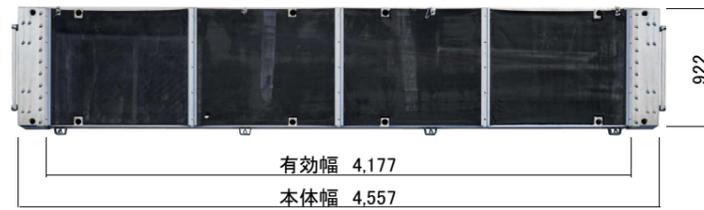
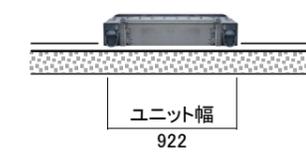
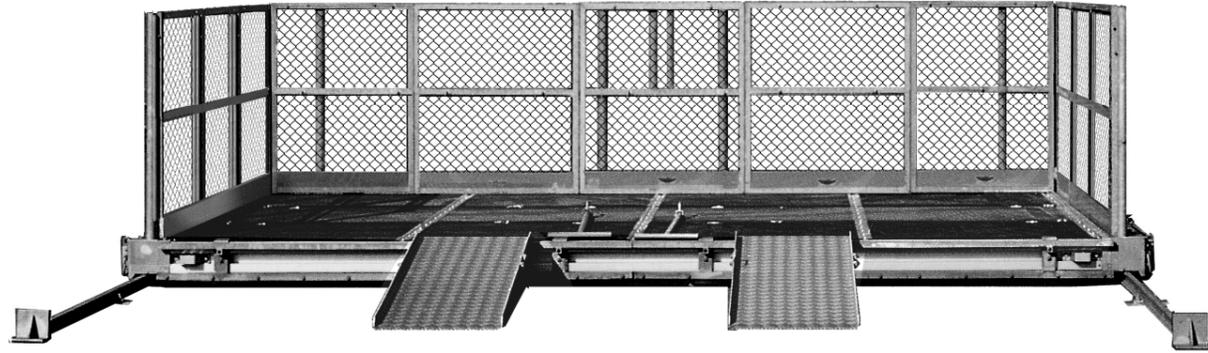


スラブ開口部での荷受けステージ。
開口部からの転落、落下の防止、及び屋上開口部での屋根として使用できます。
ユニット化した台車ですので、現場加工の必要がなく、設置、撤去が簡単にできます。
ユニットの連結数により、奥行寸法を自在に変えられます。
ブレーキは足踏み式で緊急時にも迅速に対応できます。



◆ 規格・寸法・重量

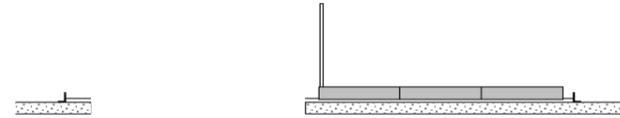
数量は3ユニットで1セットの場合

品名	品番	寸法	単量 (kg)	数量	備考
移動ステージ	ND-9240	922 × 4,557 × 174	234.0	3	積載荷重 3.92 kN/m ² 、ユニット1台当り 15.7 kN
引込ハンドル	ND-H		3.5	2	
レール(5.5m)	ND-6K-5.5	L = 5,500	33.0	2	
レール(1.35m)	ND-6K-1.35	L = 1,350	8.1	2	
レールストップ	ND-6K-5.7		3.2	4	1セット 4台使用
レールクリップ	ND-6K-ST		0.8	16	1m間隔、アンカー(M12)は現場にて用意下さい
継ぎボルト	ND-6K-MOR		0.0	8	1ヶ所当り4本
継ぎ板	ND-6K-PEC		0.3	4	1ヶ所当り2枚
手すり枠 (A)	ND-2070	L = 2,070	14.0	2	1セット当り2台
手すり枠 (B)	ND-845	L = 845	7.0	6	1ユニット当り2台
養生枠 (A)	ND-753C	コーナー用	17.0	2	
養生枠 (B)	ND-872	妻側用	9.4	3	
養生枠 (C)	ND-925	サイド用	9.8	4	
Jボルト	ND-01			44	
フrintスカート	ND-FSR	右用	9.8	1	1セット当り1台
	ND-FSL	左用	9.8	1	1セット当り1台
スロープ	ND-5015S	幅500 × 長1,500	18.0	2	1セット当り2台

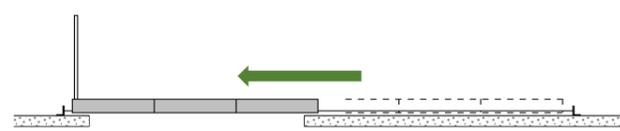


◆ 使用方法

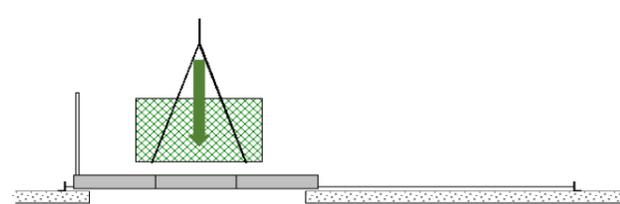
① 通常位置



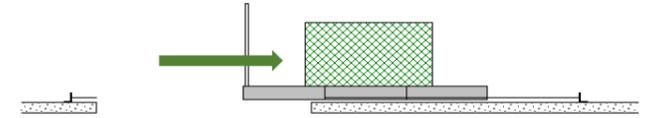
② 開口部へ移動し、ブレーキをかける



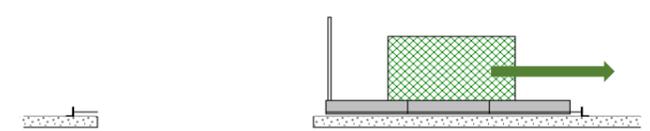
③ 荷物を吊下ろす



④ ブレーキを解除し、ステージを引き込む。



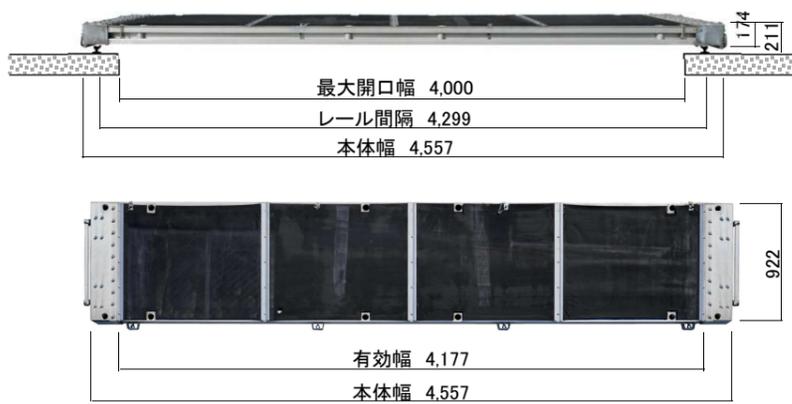
⑤ ブレーキをかけ、荷物を下ろす



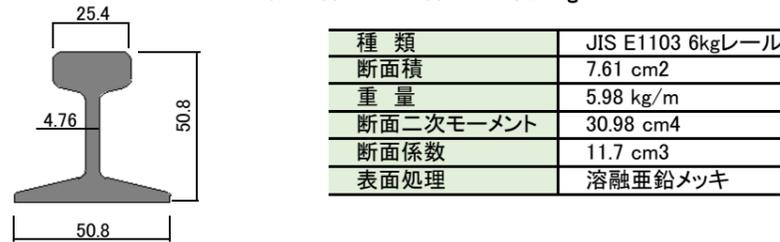
- 停止時には必ずブレーキをかけて下さい。
- レールは水平に設置して下さい。
- レールは規定の間隔 (4,299mm) を保持して固定して下さい。
- レールの端部には必ずストップを設置して下さい。
- レールの上や間には物を置かないで下さい。
- 移動時の押し引きはレールの外側で行って下さい。
- 慣性をつけて移動する等の、危険な取り扱いは避けて下さい。



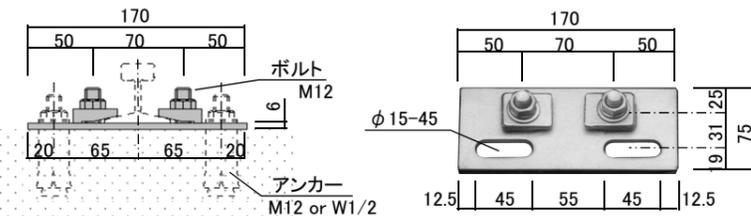
移動ステージ ND-9240 234.0 kg



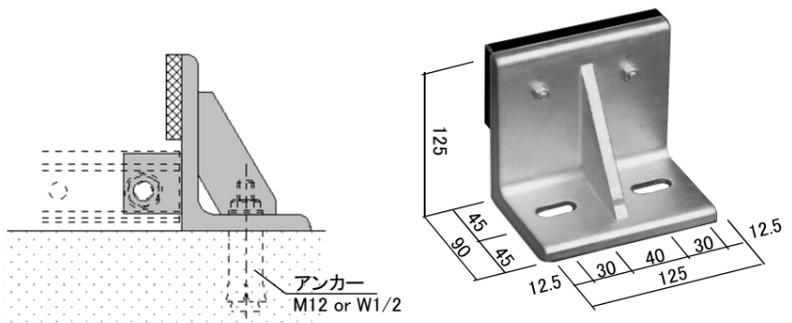
レール ND-6K-5.5 L = 5.5 m 32.89 kg
ND-6K-1.35 L = 1.35 m 8.07 kg



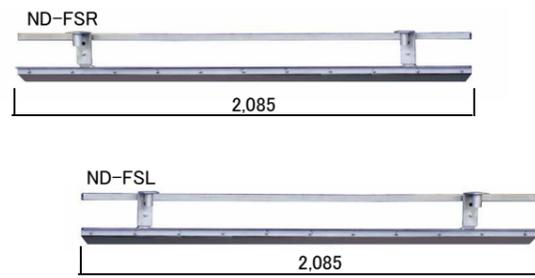
レールクリップ ND-6K-KU 0.8 kg



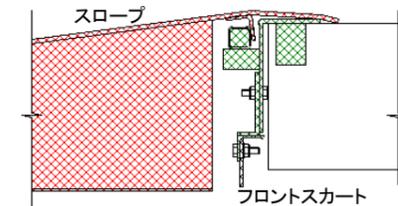
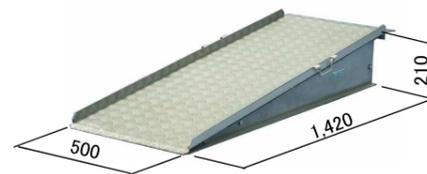
レールストップ ND-6K-ST 3.2 kg



フロントスカート (右)ND-FSR 9.8 kg
(左)ND-FSL 9.8 kg

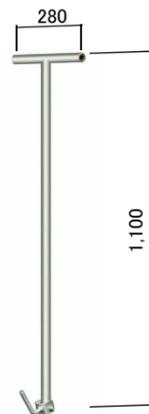


スロープ ND-5015S 25.0 kg

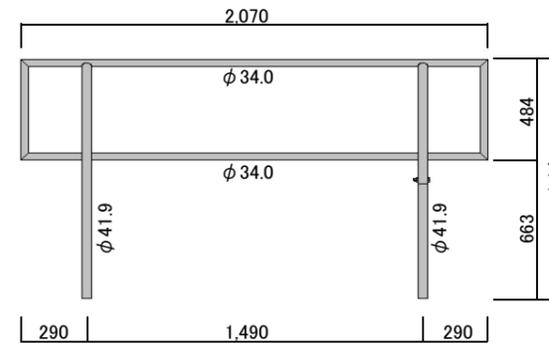


フロントスカートの角パイプにスロープの
アングルを掛けズレ止めになります

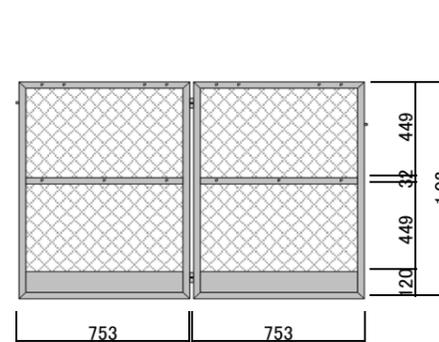
引込みハンドル ND-H 3.5 kg



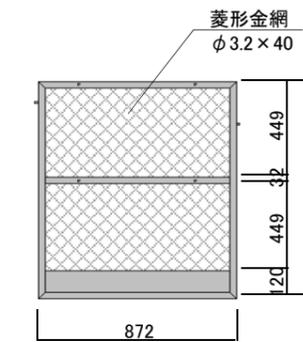
手すり枠 ND-2070 14.0 kg



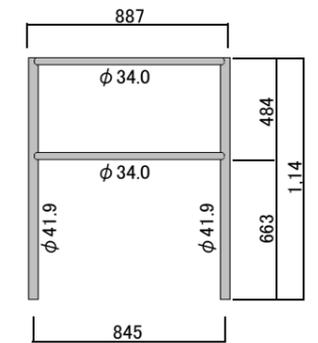
養生枠 ND-753C 17.0 kg



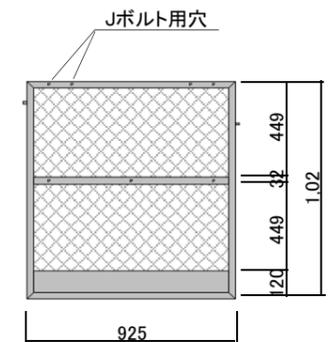
養生枠 ND-872 9.4 kg



手すり枠 ND-845 7.0 kg



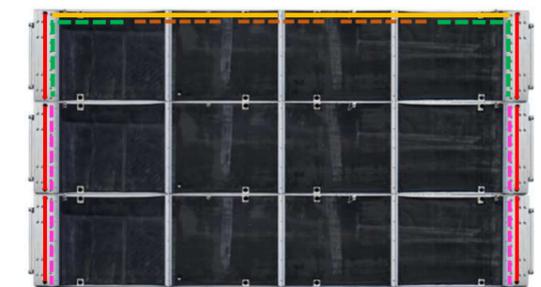
養生枠 ND-925 9.8 kg



●手すりをコの字に使用する場合

部 材	ステージの連結台数					
	1台	2台	3台	4台	5台	6台
手すり枠	ND-2070	2	2	2	2	2
	ND-845	2	4	6	8	10
養生枠	ND-753C	2	2	2	2	2
	ND-872	3	3	3	3	3
	ND-925	0	1	4	6	8
Jボルト	ND-01	28	36	44	52	60

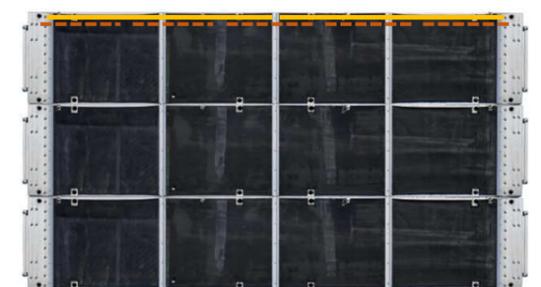
Jボルトは養生枠1枚に4本使用します



●手すりを妻面だけに使用する場合

部 材	数量	
手すり枠	ND-2070	2
	ND-845	0
養生枠	ND-753C	0
	ND-872	2
	ND-925	0
Jボルト	ND-01	20

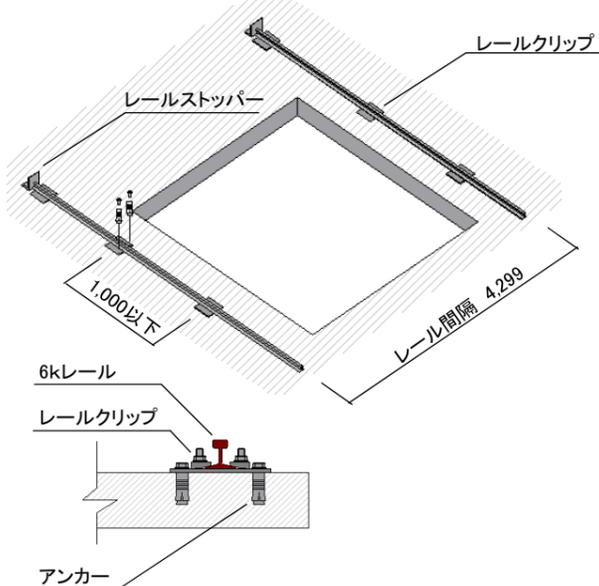
Jボルトは養生枠1枚に4本使用します



◆ 取扱い方法

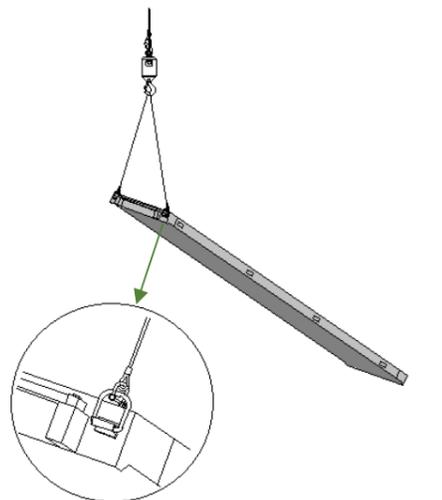
① レールの敷設

開口部に所定の間隔にてレールを敷き、平行、レベルを出し、レールクリップで固定します。レールの端部にはレールストッパーを設けます。



② 本体の吊上げ

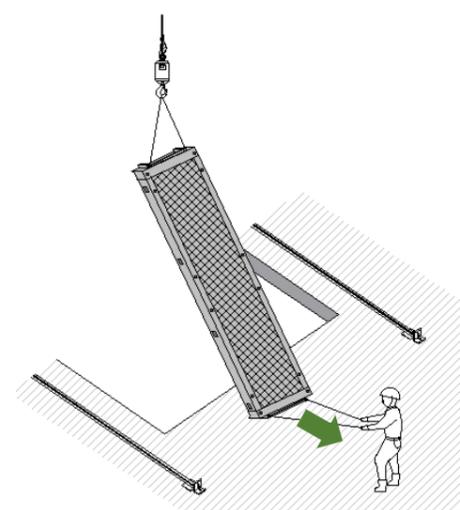
片側の吊具にワイヤーを掛け、垂直に吊上げます。



水平に吊って配置できる場合には、縦吊りは避けて下さい。

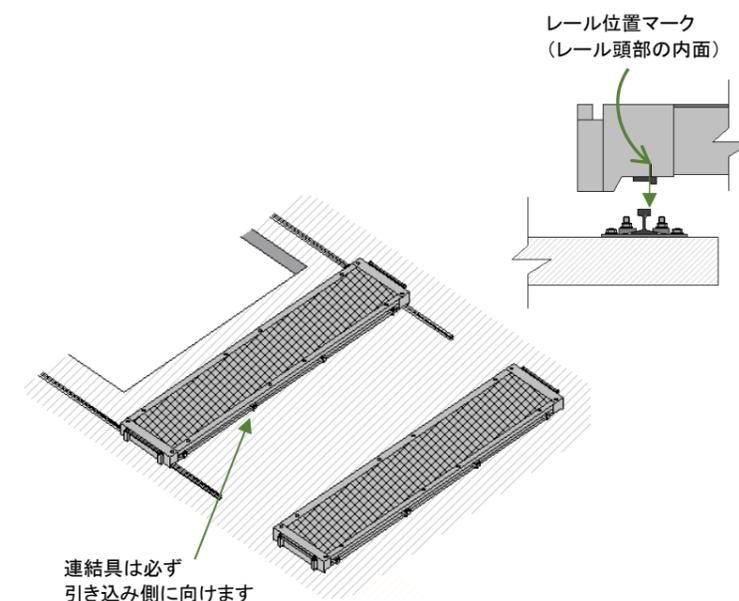
③ 各階フロアーへの取り込み

下側の吊具にロープを掛け、床まで引込み、スラブ上にステージを下ろします。



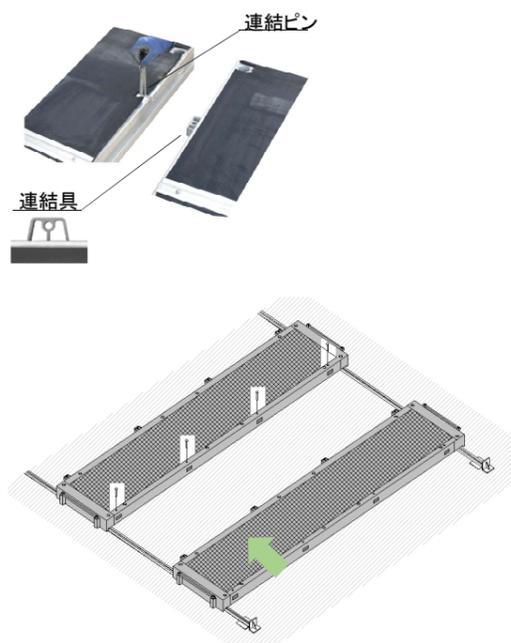
④ 本体の移動、位置決め

本体のレール位置マークをレール頭部の内側に合わせ設置します。



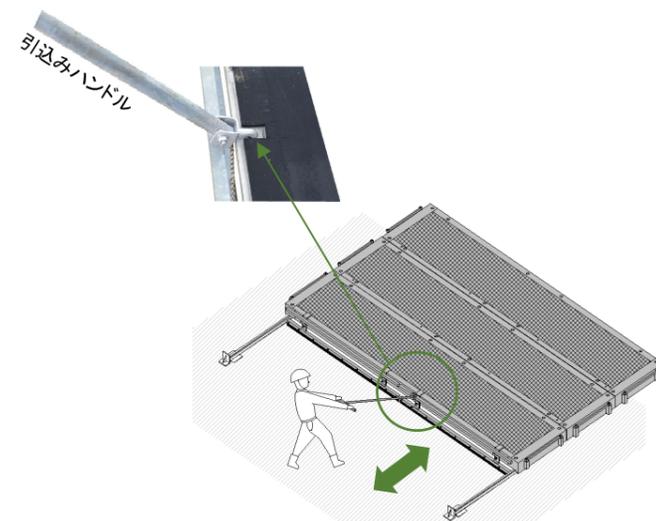
⑤ ステージの連結

ステージの連結は、接合面に設けられている連結具をかみ合わせ、連結ピンを差込み連結します。



⑥ ステージの移動、固定

移動は引込みハンドルを連結具の穴に差込み、前後の移動をします。



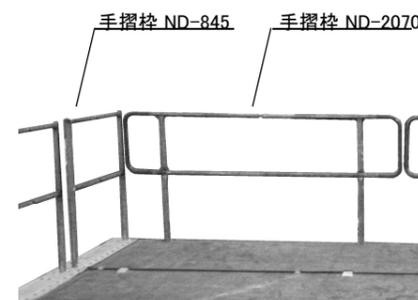
移動する時は、ステージの左右のブレーキを引上げ、ブレーキを解除します。移動を止めるときは、ブレーキを踏みつけることによりブレーキが作動します。



ブレーキ渡し棒

⑦ 手摺の取付け

専用の手すり枠を差込みます。



⑧ 養生枠の取付け

手すり枠にJボルトで取付けます。

